THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷 第十三號

每週金曜日發行

婦人週報

[illegible]

定價一部四錢五厘

本號目次

□日曜の午後……小橋三四子
□時事週評
□人一評　大江壽美子
□獨逸の皇后陛下……山脇法學博士
□名士と其母（三）　松本博士
□優等生と其家庭
▽多幸の家に育つた小原清子
▽亡父の心盡に上京した賀川とり子
▽繼母との間も圓滿な佐野ふみ子
□英國への一人旅（三）……白菊女
□入學に先つて……杉浦校長
□子供がジフテリヤに罹つた時……大村薫子
□春野の小草
□今週の惣菜……櫻井親子
□世界史お伽譚『埃及王の獅狩り』……新雲
□ウオヅオズの妹（下）……澤子
□短歌『若くして』……安中花子
□小說「何處へゆく」……松本雲舟
□時事……女學校だより……編輯室より

婦人週報社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

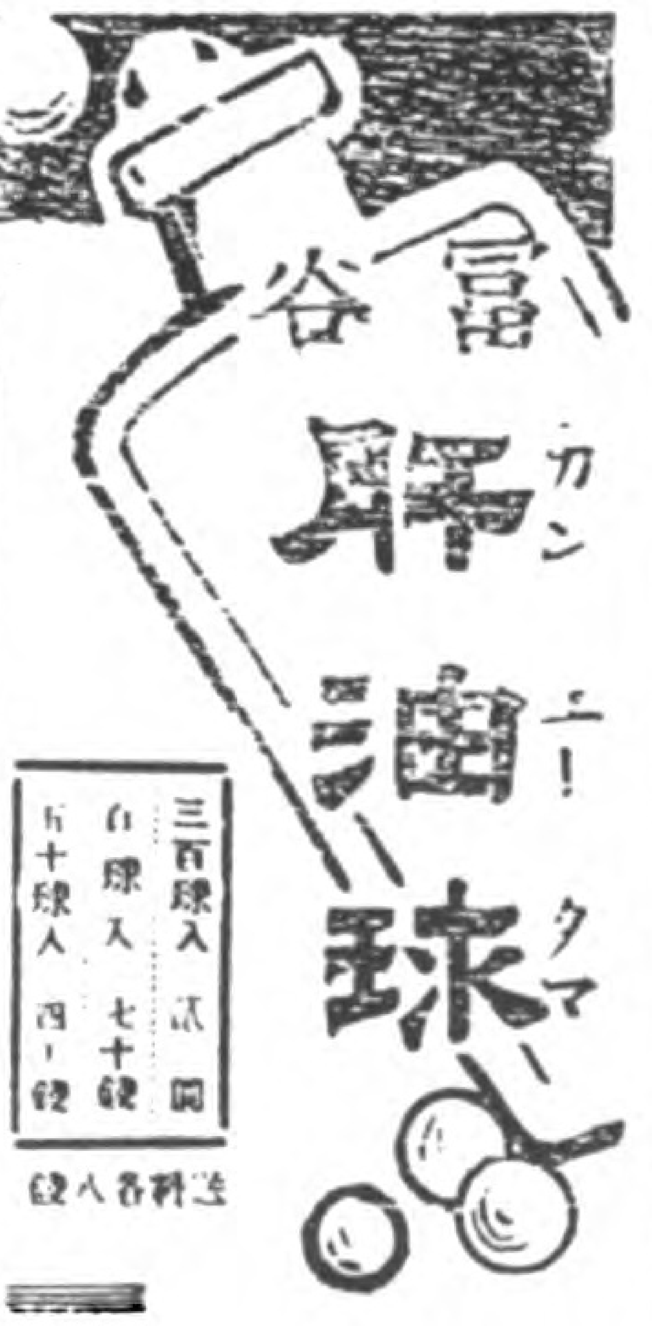
安價生活號

婦人之友 四月號

二天才女……雪嶺博士
◉無駄の多い地方の生活……横井博士
◉なぜ贅澤になつたか……佐治實然
眞の經濟的生活……羽仁もと子
◉虚禮は安價生活の敵……井深花子
◉歐洲戰爭と日常生活……加茂博士
日本は贅澤國……理學博士三宅驥一
◉見えも飾もない生活……左近松子
◉手のかゝらない赤坊……吉野龍子
安價生活と食品の研究……額田博士
◉一人の紳士の洋服代……葉末子
◉物の保存と整理と買方と……岡糸子
十錢で買へる食品七十二種分量比較
◉新式早縫秘傳(帶の仕立方)……志摩野司
◉瓦斯メートルの讀み方……山田菊水
丼一つの費用で出來る客膳
◉牛乳の消毒法……醫學士佐久間兼信
◉椽側なしの氣取つた住宅……記者
衣服を經濟に着る色々の工夫
◉夫の氣に入らない妻の煩悶……記者
◉模範的婦人用語(初對面の挨拶)
五百圓の貯金をした村の駐在の巡査
◉簡單に出來る造花の仕方……田島松五郎
◉家庭唱歌(弘田龍太郎作曲 與謝野晶子作歌)
長篇小説 朝の歌……佐藤紅綠

改正定價卅錢郵税一錢五厘・半年税共一圓卅錢・東京雑司ヶ谷(振替東京一一六〇〇番)・婦人之友社

肝油服用者之福音



諸大醫の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

三百球入 壹圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢
送料各八錢

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番
振替東京七〇八一番

體力精力増進に今が肝油服用時期

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり。
ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地
英語專門私立 櫻井女塾
電話下谷六八一五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日曜の午後

□

過る日曜の午後兼ねて知り合ひの二人の若い姉妹が、ふと訪ね下さいました。用談を暫らくにして濟しますと、如何なるはづみか泉のやうに、清く、盡きざる話が姉妹の口から洩れて參りました。殊に妹さんはまだ二十歳になつた計りのうら若い方です。薔薇のやうな其の兩頰は輝くかと計り美くしく燃えて、とてもこんな娘さんの口から聞くことの出來ないやうな深い精神上の經驗を、繪筆を取つて描いて居るやうに、明らかに語るのです。

□

きのふ迄の二人を知つて居る私には一層不思議に堪へませんでした。二人共世の常の娘さんと何等異つた處はなく、彼方此方からの緣談を長し短しとして、よい嫁入口のある迄は、裁縫や料理、琴、茶の湯等と習ひ歩いて居つて、娘らしい虛榮心も、競爭心も可成り强かつたものがこうして今日對談して居ると、少しの厭味も、衒ひも無く、况して僞りも無い、殊にいつも俯目勝ちに固くなつて耻かしげに物を語つた者が、何の恐れも憚りもなく堂々と權威を持つて話して居る。心地よいこの塲の光景に、私もつい釣り込まれて、午後の三時から、僅かに一杯の茶に唇を潤ほした許りで、菓子も口にせず、夕飯をも忘れて、夜に入る迄も語り續け、十時の打つのに驚いて、別れを告げた事でした。

□

この姉妹は日蓮宗の良師を得て、昨今頻りに御修行を續けて居るとの事です。私は基督敎を奉じて居る者であります。然し二人の語る宗敎的經驗や、法悅の境は、いかにもよく讀めるので、人は狂と呼び、愚と考へる事柄に、多大な尊敬を拂ふ事が出來ました。そして齷齪して夙夜に働らき勞れた私は、幽玄な靈界に身を置いて、なほも其の妙味に飽かず浸つて居れば、山と嵩める俗務も消えて春の夜の甘い哀愁を身にしめ乍ら、無聲の聲を聞き續けて、心はいとゞ冴え渡るのでした。

□

物價騰貴の此の頃、生活難の聲も一しほ高まつて來ました。お米を一升買ひする境涯から、大厦高樓に住ふ人に至る迄油斷をすれば、明日は妻子を路頭に迷はさなければならぬといふのが、世の常で從つて生活といふ事に、人が多くの勞苦を拂ふ事は餘儀ない事でありませう。かやうな世界斗りを見れば、息苦しさに堪へぬ斗りか、誠に儚い夢に過ぎませぬ。然し心を潜めて觀れば、喧囂の世の裏に一と筋の道は靜かに橫つて居ります。この道に辿り付けば、浮華な世の相に心を奪はるゝ事なく、安らかに樂しく生れ甲斐のある生涯を送つて行くことが出來ます。

□

普通の娘さんを、聖者の心に仕立てやうといふ事は、どんな敎育でも、とても一代には出來兼ぬると申しませう。然し目のあたりこの姉妹の變りやうを見て、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

虚心平氣にその原因を尋ぬる者には、目に見えぬ不可思議な力を感せずには、居られますまい。如何にして學生の品性を高むべきか、如何にして國家の富を増し國力を充實すべきかと憂國の士が心を碎いても、物質的に計り心を注いだならば人は只神經衰弱に陷る計りであります。

口

本誌に掲載した山脇博士の獨逸の皇后陛下の御偉業に就いて述べられた中にも彼の國の物質文明の滔々として起つて參り、人は漸く其の刺戟に堪へぬ事を覺えて來ました節、皇后陛下は先づ宗教を國民の間に布くことに御心を注がれたと申すことです。これを以て一時の政略的の仕方と解するは、餘りに皮相の見であります。陛下はよく文明の泉源を穿ち當てられたもので、物質文明も其の泉源から起つて來るのでなければ、長き發展には堪へ無い事を御承知でいらつしやたのでせう。私共も水をせつせと汲み溜めるよりも、水脈を探ねて泉を掘り當てるやう根本に心を注ぐことに骨を折りたいものです。（三四子）

時事週評

▲**飛行家の慘死**　暫らく飛行界の犧牲者に接しませんでしたが、二十日に海軍飛行機が墜落して、頓宮大尉と阿部中尉の慘死を見たのは、いかにも氣の毒な事でした。犧牲になつた二人は覺悟の前としても、遺族の人達もどんなに悲しんで居られることであらう。殊に頓宮大尉には二十四歳の若い夫人があるとのこと、いかにも同情に堪へません。

▲**日本品の不評判**　露國への輸出の極めて盛んなる今日、同國にて日本品不評判の電報に接したのは遺憾に堪へません。「鉛筆の如き之を見たるのみにて、再び之を買ふものなき有樣なり」といふ事です。わが國商人の目の先き勘定がどうして未だに癒らないでせう。何故商業上百年の計を考へぬでせう。

▲**平和の曙光**　ヴェルダンが陷落しないので獨逸は餘程失望してゐるやうです。佛蘭西あたりでは、其のために平和の曙光が見えたといふやうな評判があるやうですが、どうですか。まださう容易くは平和は來りさうにも思はれません。ヴェルダンの攻擊は尙獨逸に依つて繼續されるやうです。

二

▲**臨檢問題落着**　英艦のわが商船臨檢は英國外相グレー氏に交涉せる結果、最早廢止することになつたさうです。今日からいふ事件から日英同盟にヒヾの入るとはいかにも殘念な事ですから、英國でも少しは考へ直したのでせう。

▲**死骸と心中**　岩手縣二戸郡米村玉村たみ(三)が夫の虐待に堪へかねて實家へ歸り、本月七日縊死したるに對し、其の幼友達であつた月舘孫兵衛(三)といふ男が十二日夜たみの死骸を發掘し、其の死骸を自分の身體に結びつけて、村田銃で咽喉を貫ぬいて死んださうです。兩人がどういふ仲であつたか解りませんが、今時徹底した戀でありませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一人一評

大江壽美子

▲宮川壽美子女史は昨年陸軍の經理部長大江玄壽氏に嫁して、大江壽美子夫人となつた。先日三越樓上にあつた何にかの會合で、壽美子さんは「感謝の生活」といふ演説をして、其の結婚生活の近狀を洩されたさうな。每日感謝に滿ちてゐるといふ言葉が謙遜な壽美子さんの口から出るのだから、それ程に感じなかつたが、若し他の蓮葉な女がさういふ事を聽衆の前に喋舌つたら、必らず冷評を浴せられたであらう。

▲壽美子さんをさういふ感謝の生活に導いたのは、壽美子さんが平素蛇蝎のやうに忌み憚つてゐる新聞記者であると言つたなら、奇異の感に打たれざるを得ない。「宮川壽美子女史結婚」といふことを某通信が報じたので、逸早くそれを精探して掲載したのは、都下の某新聞であつた。壽美子さんも壽美子さんの家族も、大に其の新聞を怨んで、「新聞記者は怖い。もうこれから決して新聞記者には遇はない」と決心の臍を堅められたさうな。所で其時には、肝心の大江玄壽氏の方では、心がぐら〳〵してゐた。他にもお嫁さんの候補者があつて、「家政學の泰斗、女子高等師範の教授、いかにも結構づくめだが、もう少し顏が……」などと、御自分の疱瘡神に崇られた顏を棚に上げて思案中であつた。其處へさういふ新聞が現はれて「花よめ花むこ」に祭込まれてしまつたので「えい、まゝよ、これも神さまの思召だ」と早速新聞のプログラム通りに遂行した。かやうに寫眞結婚でなくつて、新聞結婚をさせられた壽美子さんが新聞記者を怨むのは、いはゞ恩を仇で返へすやうなものである。宜しく感謝の生活の第一條に加へて、大に感謝すると同時に、記者面會謝絕の看板を取下げ、其結婚生活の新經驗を社會に發表なさるが善い。

▲壽美子さんは母に仕へて至孝の人であつた。學校でもいかにも親切に生徒へ教授をされる。あまり其の態度が謙遜なので、なんだか先生たるの自尊心が缺けてゐるやうな感じがして、元氣に滿ちた生徒と精神上の共鳴を覺えぬ點もないではないが、兎に角善い先生として知られてゐる。

▲かういふ謙遜の人であるから、大江新夫人としても、いかにも貞淑に夫に仕へられることであらう。每日曜には、御主人と一緒に教會詣でをされる。御主人の身の丈は低いが、壽美子さんは並はづれて高い。其故壽美子さんは御主人と並んで歩いても、よそ目から可笑しく見えぬやうに、非常に苦心してゐられる。先づ膝を曲げ、それから腰を曲げ、最後に頸を曲げて、御主人と同じ身の丈になつて歩かれるのを見た者は尠なくないであらう。

▲日本では、まだ晩婚の婦人を笑ふ癖がある。當人も恥かしがつて、井口あぐりさんの如きは、結婚すると同時に、亞米利加へ姿を隱してしまつた。こんな馬鹿な癖は早く破りたいものである。七十の手習を感心する世の中が、七十の花嫁を歡迎せぬといふのは、實に馬鹿げた事といふべしだ。壽美子さんの感謝の生活をして永久に幸あらしめよ。(くも)

三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獨逸の皇后陛下

御總裁の同國愛國婦人會の偉業
美はしき御逸話に富ませたまふ

法學博士　山脇玄

△敵ながらも天晴れ

一昨年六月二十八日、墺國皇太子並に同妃殿下の鮮血が、セルビヤ兇徒の手に依つて、痛ましくもボスニャの首府サラエーボの街上に流されたのを最初の烽火として、前古未曾有の大戰亂を惹き起し交戰既に二十ヶ月に及んでゐる昨今、種々の世説はあつても、其間大敵に未だ自國内の寸地をも犯されず、今日まで到る所に聯合軍を蹂躪して、兎も角も優勝の地位を保つて居る獨逸國民は、敵ながらも天晴れ感ずべき國民ではないか。

△その原因は果して何

獨逸國民は何故斯う強いのであらうか。其原因は決して一にして止まらぬであらう。英國軍需大臣ロイドヂョーヂ氏の云つた如うに、獨逸が實に驚くべき軍隊を備へ、驚くべき兵器を畜へ、驚くべき軍需品を擁する事も、疑ひなく其一つであらう。また公民教育の普及や、皇帝陛下の偉い事にも原因しやう。而して亦、皇后陛下が皇帝陛下を助けられて、社會政策の實行に心身を勞さるゝ事、大いに與つて力ありと云ふても、敢て過言ではあるまいと思ふ。彼の鐵血宰相ビスマルク公は、老帝（現皇帝の祖父）を補佐して一方社會黨の撲滅策を講ずると同時に、他方勞働者の爲めに諸種の保險を設けて、下層社會の地位を安固ならしめんとした。然るに皇帝陛下が位に即かれて間もなくビスマルク公が退隱するや、皇帝は社會黨の撲滅策を止めて、大いに社會政策に意を用ひらるゝに至つたのである。

△皇后の御卓見

當時は科學萬能で、何事でも科學上から證明し得ないものは、空理空論として排斥さるゝ學風熾んに勃興し、爲に宗教は漸々廢頽し、偏に物質文明に傾きつゝあり、下層社會は生活難の爲め貧困の淵に沈まんとする狀態を呈して居つた。深く之れを憂ひられた皇后陛下は、先づ國民の宗教道德を復興し、下層社會の職業を奬勵し、之れに普通の教育を及ぼして其地位を改善向上せしむることに努めら

四

れ、尚ほ下層社會の子女、特に幼兒を保育する事に、心を砕かれた。畢竟此等百般施設の趣旨は、國民の獨立自尊、協力献身の精神を振起する目的に外ならぬのである。

△獨逸の愛國婦人會

獨逸皇后陛下の事業の一端を我國中流以上の婦人に紹介することは、此際決して無用の業でないと思ふ。――獨逸の愛國婦人會は曾てナポレオンに對する自由回復戰爭當時に起源を發し、傷病兵の看護を目的としたのであるが、其後一度會運が衰へたので、老帝の皇后が復興され、普墺戰役普佛戰役には大功を奏し、次で今の皇后陛下が之れを擴張されたのである。そして現時同會がする事業は大要左の通りである。

一、戰時の準備として專ら看護婦を養成し治療器具の製作を爲す外尚ほ左の事業を經營す。

イ、各市町村に病者の救濟所を設けて病者の治療をなし產婦の爲に出產需用品の貸附をも爲す

ロ、貧民救助

ハ、職業紹介

ニ、家庭職業の奬勵

ホ、勞働者の爲にする賄所、カツフエー飲所

ヌ、スープ飲所の經營

ヘ、職業を求むる爲め地方より伯林に入り來る少

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

壯女子を停車場に待ち受けて各雇主に紹介する會
ト、割烹及び家政學校
チ、北方各州に流行する眼病の豫防、全國流行の結核病豫防、或る州にては森林中に養生所を設く
リ、女工の爲に一日の休養を與ふる森林休養所
ヌ、虚弱なる兒童の爲めにする森林學校

△初生兒死亡の豫防

此外、皇后陛下が最も心を用ゐらるゝのは、哺乳兒の養育である。獨逸は曾て墺露兩國を除く他の歐洲諸國よりも、一歳未滿の初生兒の死亡率が多く、其數全出生兒の五分の一に達する有樣であつた。其原因は遺傳、粗惡なる住居、婦人の勞働生活、流行病等であつて、死兒の三分の二は營養法の誤解、或は營養不良に原因するのであると云はれてゐる。皇后陛下は之等の事情に鑑みて初生兒の死亡を豫防する爲に研究所を設けて各種の調査研究をなさしめ、其結果を汎く公衆に報告せしめられたのである。

△國家的婦人會の偉業

右の如く戰時も平時も、驚くべき多くの社會事業を爲してゐる獨逸の愛國婦人會は、皇后陛下を總裁とし、陛下の財團法人を基礎として、地方各支部の基金並に富豪の寄附金、會費等に由つて經營されて居るので、千九百七年の報告に依れば、支部の數二百六十二ケ所、會員の數三十六萬三千七百六十二名、會費の收入七十七万五千三百六十馬克（一馬克は我國の約四十八錢）、附屬病院の數六十一ケ所に及んでゐる。

△少壯女子の慰安

愛國婦人會の外に、皇后陛下を總裁に戴く少壯女子慰安會なるものがある。之れは獨身の女子で諸般の職業に從事する者の爲に、寄宿舍を設け、會長を置き一切の世話監督をなさしめる。入會志願者は此處に宿泊して飲食し慰安助言を得ること恰も家庭に於けると同樣であつて、安全に生活する事が出來る組織になつてゐる。此寄宿舍には適宜下婢寄宿舍を附屬せしめ下婢に對して母親に劣らぬ親切の注意を與ふる傍ら職業の紹介をも爲し、場所によりては相等の教育を施す設備もある。また大都市には少壯女子の爲に倶樂部の設があつて部長を置き圖書室、洋琴室、ミシン室、或は語學、美術品の製作、職業、家政等の知識を授くる設備がある。其内特に皇后陛下の補助を受くる倶樂部では、日曜日には午後四時から、其外の日は夜間、倶樂部を開放して女工の休憩、談話、教養の用に充てゝ居る。

△御逸話の數々

皇后陛下は屢々自ら總裁に任ずる諸會の場所を親しく御訪問あり、精密に視察されて、注意すべきは注意し、改良すべきは改良を施さるゝことを常とする。かゝる有樣であるから、陛下の逸話の世に傳へらるゝもの數多くあるが其中一二を擧ぐれば、曾て獨領エルサッコ地方から佛領の或る地方に雇はれてゐる一處女が、母親の病氣危篤の急報に接して、取るものも取り敢へず出立して歸途につき、獨佛國境を通過しやうとした際に旅行劵を見せよと云はれたけれども、其持合せがなく、掛りの役人に母の急病を訴へ、事情を述べて通過を嘆願したが、掛り員は頑として娘の願ひを容れない。彼女は茲に於て大に決心し、此事を皇后陛下に電報を以て直訴した處、凡そ二三時間の後に彼女は許されて無事國境を通過するを得たのである。之れ全く皇后陛下の慈愛心に出てたのであつた。また或る時、陛下が地方の病院を視察された折に、指物屋の一少女が病床にあるのを見舞はれ、「貴女は幾歳になります」と問はれた。すると少女は今日は七歳ですが明日は八歳になります」と御答申上げた處其翌日綺麗な人形と繪本とが誕生日の祝として少女の病床を飾つたと云ふ美談もある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（三）

文學博士 松本亦太郎氏

□

私は十五歳の時父母の膝下を去つて松本の家に養子となつた。然かし一昨年の暮、母が七十六歳で世を去るに至るまで、折さへあれば母に逢つて居たから、随分長い間母の恩愛を受けて居つた譯である。

□

私の實家は母の嫁いで來た頃は高崎藩では可なり重要の職を務めた家で、本家、分家などがあつて随分大い家族であつた。而して是等の上に立つ宗家は高崎より一里許り隔つて居る豊岡と云ふ所にあつた。此宗家は上毛では随分古から續いた豪農であつた、これが亦大なる家族であつた。私の母は此家に生れた女子であつた。私の實家の血統は實に子供の澤山に出來る血統であつて、親類何れの家も人數が甚だ多い。私の母は人數の多い家庭に育つて、又人數の多い家に嫁となつたのである。

□

斯る事情が母の性格を玉成する上に與つて大に力があつた。母の一生を觀ると、母は餘程素質の良い人であつたと私は思ふ、然かし又境遇が大に母を感化したと思ふ。母は幼い時から大勢の人を相手にし、嫁して後も一家の主婦として大勢の家族を相手にするので、自然に誰に對しても公平であり、親切であるやうになつた。母が私心を以て事を爲したと思はるゝ事は只の一度もない、尤も母は不

六

斷父の教を受けたと云ふ事を常に私共に言ひ聞かせた。父は己れ立たんと欲すれば先づ人を立つ、と云ふ事や至誠は天の道なり、人の道なりと云ふ意味の事を我々子供にも常に語つた。

□

母は嫁して後七八年間、子が出來なかつたので自分には子は授らないものと諦めて居つた、然るに九年目に始めて子を産み、夫から續けて八人の子供を産んだ。夫れで父の歿した時子供は割合に小さい、其大勢の子供の成育を母一身で引受け、非常なる患苦を嘗めた。悉くを育て上げ、最後に末の男子を人にする爲め全力を注ぎ、之をして立派に獨立する事の出來る人間とならしめ、其子の家を自分の安住の處とし、晩年を極めて幸福に、何の愁ふる所も無く、甚だ壯健に嬉しく日々を暮らし、一分間も病むことなくして世を去つた。

□

私の母は正しい人であつたが嚴い人ではなかつた。常識に富んで居つて、偏狹で無かつたから、其意見は周圍から尊敬された。温良親切なる人であつたが、子

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

供の侮を誘致する人ではなかつた。一生涯休みなしに働いた人で、世を去る刹那まで子や孫の世話をして居つた。

□

母は茶儀とか挿花とか云ふ様な昔の女子に必要な事は大抵習熟し、裁縫などは甚だ達者で、料理などは手際が巧であつた、昔の家庭では麹を造り、味噌を仕込み、或は年中の漬物類を自家で拵しらへると云ふ様な事が年中行事にあつたが、母は然る事には自ら其任に當り一家を率ゐて事を處理した。私共がいつも感服して居つたのは母が字を書く事の上手であつた事である。巻菱湖の子の巻百里と云ふ書家が母の實家に出入して居つて、母は此人から書を習つた、今でも母が手本にした百里の書いた百人一首の帖が遺つて居る。

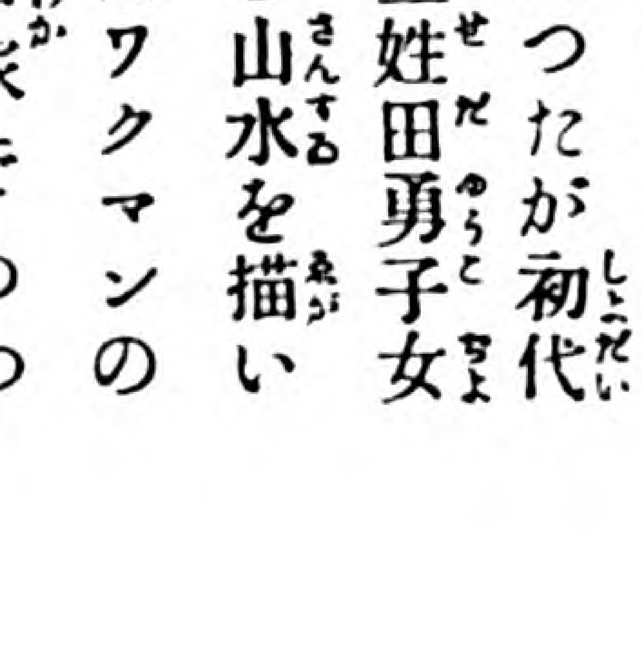
□

嫁して後も大沼枕山や、鱸松塘や、其娘の采蘭などが父の詩侶の友で時々來て、私の家に寄寓して居つたので、母も自然に文人風の趣味を解した、采蘭の事など數々母が噂をした。父は母や私共を連れて毎夏伊香保に湯治に行き、又一家十數人で東海道を旅行して富士山に登つた事などがあつた、まだ駕籠に乘つて旅行する時分であつた。其時は東京や横濱に可なり長い間滯留し一家の見聞を開く事に心を用ひた。斯る事情から母は比較的多趣味であつて、老いて後も若い人々を相手に多方面に涉つて面白い談話を試み、何人でも來訪するものには好伴侶となつた。

□

母は其生れた家を去る遠からざる、祖先累代の墳墓のある寺に安らかに葬られた。父の法號は松樹院と云ふのであるから、夫れに對する様な號を選んで呉れと云ふ事を私が住職の禪僧に賴んだら指月院と云ふ號を定めて呉れた、詩的のよい名である。餘程久しい前であつたが初代五姓田芳柳翁の令孃である五姓田勇子女史が私の家に假寓して上毛の山水を描いて居つた事がある。此女史はワクマンの門人で若い時分から相當の畫家であつた。私も其時少し繪を敎へて貰つた事がある。母は勇子女史を自分の娘でもある如くに懷しがつて居つた。女史は我家に假寓中母の肖像を描いて呉れた。夫れが今でも遺つて居る。母の三十五六歳の丸髷姿で、半身像だが、紫紺の茶巾に赤樂の茶碗を捧げて客に薄茶を上げる光景を描いたものである。全體の調子に母の温和なる有樣がよく現れて居るが、殊に赤樂の茶碗の色や形が、暖かみがあり、穏かで、畫面に一種の趣を添へて居る。此肖像畫に對すると何となく心が長閑になり、和かになるが、母の事はいつ想ひ出たしても私の心を怡悦せしむるのである。

七



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

優等生と其の家庭

父母の心盡しは空ならず
何れ劣らぬ美はしき家庭

多幸の家に

育つた小原清子

△五ケ年間組長に推さる

三輪田高等女學校を最優等で卒業する人は、小原清子（十九）と云ふ才媛です。清子さんのお父さんは愛媛縣平民で退職陸軍少將小原芳次郎と云ひます。清子さんは入學以來非常に優等の成績で、且つ品性も優美である處から、級の人望を一身に集めて、五ケ年間十五回公選されて組長たるの名譽を擔つて居りました。

△譽ある娘の家庭

此の譽ある娘を出した家庭を、中野町上ノ原七八五にお訊ねしたのは、麗らかな春の日。閑靜な御住居の、十疊座敷に通されて、母君をお待ちする記者の眼に入つたのは、載仁親王殿下の御墨「觀國之光」と云ふ額でした。間も無く落ちつきある御樣子で記者に對座された少將夫人は、四十七八とも思はれるでつぷりと肥られた婦人です。「清子が一番……。何ですか未だ判つたものではございません」と話さる、お聲も、明瞭と氣持ちよく對者に感じさせる。

△教育の爲家を移す

清子さんの小學校時代は、父君が諸所に轉任して歩かれた爲め、四五回學校が變つた。「初め四谷の愛住小學校の幼稚園から其小學校へ二年ばかり通つてゐると父が越後の新發田へまゐるのであちらへ、また一年程して東京勤めとなり、本郷に住はうと思つて、清子を誠之小學校に入れやうといたしましたが、滿員であるから三四ケ月經たねばとの事でしたから、また愛住學校へお頼みする事にして家もわざ〳〵本郷から四谷へ移ると云ふ次第でした。」と語られる。娘の教育の爲めに家を移す―何んだか孟母三遷の故事を眼のあたり見る樣な氣がします。

△音樂が好き

小學校時代に學校を變へる事は、學業の進歩の上に、大層損な事でありますが、性來怜悧な清子さんは、何時も優等の成績で、四谷第二小學校を卒業する時などは、今日と同じく最優等の榮冠を得たのでした。三輪田へ入學してからも毎學年優等で通されたとは學校側でお聞きした事。「これと云つて特別に好きな學科もない樣ですが、天性とでも申しませうか、音樂は好きで小學校へ上りたてから、オルガンを買つてくれと申して居りましたので、小學の四年頃一臺買つて與へました處、大變喜んで今もそれをおもちやにして居ります」と清子さんの趣味性を伺はれるお話。

△好きな芝居も止める

芝居などにはまゐりませんかと訊ねますと、「清子には全くその方の趣味はありません」と夫人は答へられ「私は元來芝居など好きでしたから、夫と見物した事も度々ありましたが、總領の伜が四五歳

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の時、連れてゆきますと、次の日から、身振り手まねをして仕方がありません。どうも子供に芝居はよい感化はないと思つて斷然止める事にいたしました。只近來娘二人を連れて春秋二回位、有樂座の子供日に遊ぶ位の事はいたして居ります。」ど養育上の注意の一端が伺はれるのでした。

△多幸なる家庭

此後の事については「まだ夫と相談を定めた譯ではありませんが、私の考へ丈では、此頃大分裁縫學校だの美術學校だのへ進むお方がおありの樣ですけれど、女が獨立して行けるものではなく、家庭の人となりてこそ女の本分も盡されるのであると思ひますので、清子なども當分は家庭に置いて家事を修めさせたいと存じて居ります」と答へられました。清子さんには早稲田大學法科を今夏卒業される兄さんと、三輪田高女を卒業されて宇垣一成と云ふ陸軍少將に嫁がれた姉さんと、府立第一中學校へ通學してゐる弟さんと、三輪田高女に通つてゐる妹さんの四兄弟があり、和氣靄々たる家庭の間に生び立つて居られます。

亡父の心盡に

上京した實川とり子

△家は千葉の金物屋

人には得手不得手がありまして、各種の課程を一樣に修める事は中々困難の事です、然ども學校で定められた、數多い課程の悉くを、平等に好成績を得て一校を驚歎せしめた才媛があります。今度成女高等女學校を最優等で卒業せらるゝ實川とり子(十九)と呼ぶのは即ち其の人です。とり子さんは千葉縣小見川町の金物屋の娘として生れ、九人の兄弟の第四女で、幼少の頃から明晰の頭腦を以つて、土地の小學校でも常に拔群の譽がありました。

△亡き父上の心盡し

とり子さんの二姉は早くから東京に遊學して、女子職業學校に居られました。とり子さんも是非上京して志す方へと望を懷いて居りましたが、未だ其の望を果すべき時は參りませんでした。小學校も終へて、高等小學校に進む時には一日も早くと上京の日の近からん事を祈つて居たのでした。何處も同じ親心の何處が最も適當であらうかと、日々腐心して居た亡父鎌次郎氏は、其の頃から新聞雜誌に依つて發表せられた、成女高等女學校長宮田修氏の言論に眼を注がれたのでした。そして非常に同氏の說を良とし、此處こそ我が子を託すべき處なりとて、早速同校にとり子さんを出すことゝなりました。

△初めは英語で苦しむ

多年の宿望を遂げ得られたとり子さんは、高等小學一年を終へて姉君と共に上京し、直ちに成女の二學年に入學致しました。生れて初めての寄宿舍生活に、少なからぬ淋しみを感じて居たとり子さんは、曾て教へられた事も無い英語で非常に苦められました。けれどもとり子さんの物柔しい人懷こい容姿は、教員及び寄宿舍の人々にも快い感を持たせた事でせう。それ等の方々の親切に依つて、第三學期には組の人々と一所に立派に受驗する事が出來たのでした。かうした四ケ年一日の如き積雪の功は空しからず玆に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目出度き卒業を見るに至りました。

△進んで女子大學に

とり子さんは凡ての學科に興味を持つて居られますが、音樂繪畫は専門として自分が研究しやうといふよりは、聞いたり見たりする程に趣味を以つて居るのです。これから進んで研究して行き度いと思つて居るのは數理の方面であるさうです。四月一と先づ歸省して母君に計り、許可を受けたらば女子大學の教育學部一部に入學し、進んで一際勉强したいと申して居られます。多くの子女を教養せらるゝのに、或る程度迄は眞の自由と云ふ事を、尊重せられて居らるゝ母君は多分今度もとり子さんの願ひを聞き入れて、其の才能を益々發揮せしむる事に勉められる事と思ひます。

繼母との間も

圓滿な佐野ふみ子

△二人の優等生

山脇高等女學校の本科を、十點平均と云ふ稀有の成績で卒業されるのは、神奈川縣秦野町の藥種商の家に生れた佐野フミ子(十八)さんで、同校家事科の最優等卒業生は麻布區新網町一ノ廿六海軍省經理部員の令嬢神田遊龜江子(十九)さんです。校長山脇房子女史は此の名譽ある教へ子について語られるやう「佐野フミ子は郷里の高等小學校を卒へてから本校の二年に入學して、爾來三年間寄宿舍に在つて勉强し入學以來優等の成績を持續して今日に至つたのです。

△同郷の友も褒める

「其兄弟は九人あるさうで、實母は一兩年前病歿され、今は實母の妹なる婦人が繼母になつて居りますが、世にいまわしい繼母子間の惡感情などは露程もないばかりか、一家は至極圓滿であると、同郷から來てゐる生徒等が口をそろへて褒めて居る樣な次第でございます。當人は寄宿舍に於ても、品のよい戲談を申したりして、同窓生を笑はせる位、常識的のもので、禮儀作法等も如何なる場合でも立派に振舞つて居ります。寄宿舍の世話をさせても、よく下級生の面倒を見たり、室内をよく整理して、却々拔目のない働らきをいたして居ります。

△進んで女高師に

「學業の成績は何科も秀れて居るのですが、試驗だからとて、他のものを放つて置いて勉强すると云ふ樣な事はなく、餘裕をもつて居ましたから、今後多分高等師範家事科へ入るでせうが、よく行り遂げるであらうと期待して居ります。また手筋もよく茶、花なども却々よくいたして居りました。

△稀しく氣性のよい娘

「神田遊龜江子は去年本科を優等で卒業し、今度も亦優等で家事科を卒へたのですが、お父さんは海軍省の經理部へお勤めになる人で、遊龜江子には姉一人弟三人妹一人の姉弟妹があり、圓滿な家庭に育つて居ると見えて、珍らしい氣性のよい娘です」と。記者は之等優等生の多くが、兄弟姉妹の多い、健全な家庭に育つて居るのを見て、健全なる子女は健全なる家庭より出づるものである事を益々深く感せられたのでした。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

英國への一人旅（二）

白菊女

これは女高師出身後英國へ留學を命ぜられ、一年計り前に歸朝された某女史の旅日記です。光榮あるこの行も馴れぬ一人旅にどれ程の憂さつらさを嘗められましたか。後からは赤毛布とをかしい思ひ出も、眞に命がけの修行と見られます。

口船中に只一人取殘さる

彼方電燈眩い棧橋には、船を待つらしい幾多の人かげ「あの中には定めし私の迎へも」と思へば、一しほに元氣づき、たとへんやうもなき嬉しさ。初對面やら、御挨拶やらの御言葉さへ、はやもう伺つてる樣な心地、船はとまりました。梯子は下ろされました。遲れじとのぼり來る…三人…四人…七人…八人…日本人やら西洋人やら入り交つて、やがて下に立つてる方はもうありません、…がどうした事でせう、未だ、私への迎へは見えませぬ

口船員のたしなめ口調

夜は全く明けはなれました。「御機嫌よう、もうおります、長々御世話樣になりました、サヨナラ」と迎への方と連れ立つて、勢よく出て行く日本人の一行、外國人の一團、私は未だ、空しく立つて居ます。九時、十時、十一時、と過ぎて最早や十二時、でも私にまだ空しく立つてゐます。折柄晝食濟ました斗りの一船員はつま楊子つかひ乍らデッキへ出て來られました。そして私が紹介者への手紙の返事を待たずに出立して來たと聞いて、「そんな亂暴な事して飛び出す人があるものですか」とたしなめ口調。他人でさへさう思ふもの、況して本人の自分は、百も二百も思ふやうにならう道理も無ければ、父の墓參さへ叶はぬ急々の旅立、何とか方々へかうして頼んで上げたら、何とかして下さるだらうと、虫のよい一人ぎめ、思へば亂暴とも無鐵砲とも云ひやうのない事、あゝ…それも…皆餘儀ないなりゆき「私は、之れから、丁度支店へ行かなければなりませんから何某樣の御都合を伺つて來ませう」と云はるゝまゝに切に頼んで、棒になつた脚ひきずつて、私は船室へおりました。

口懐かしの室に入りもならず

船室では大掃除の最中、何處でも、彼處でも、ベツトは疊み上げ、洗面臺はひつくらかへして、床に水を流してる大混雜「今日中に、何處もかしこも、みんな片附けてしまふんです。そして、物品の檢査さへ濟めば、うんと遊べるんですよ」と、ボーイ等は今しばしを大車輪の活働。あゝ今朝まで住みなれし懐かしの我室も、今は最早入りもならず…今下りて來た梯子の下にしよんぼりと佇みました。折から、通りかゝつた運送屋「送り出す荷は有りませんか？」とにこやかに問ふてくれました。之れはよい序と今朝からデッキの片隅に積んで置いた荷物三つを頼みました。「然しこんな宛所も學校も聞いた事はない」との事、私は思わず眉をひそめ終に運送屋は電話で直ぐ社へ問ひ合せてくれる事になり、姿は見る〳〵棧橋のかなたへ消えて行くのでした。

口誰が今頃船なんかに

いくらになるか知らないけれど、運送屋にも拂はなければならないし、金貨を細かくして貰ふと、私は事務室へ行きました。部屋と云ふ部屋は悉く閉つてゐて、皆留守の態、若しやと思つて、猶もあちらこちらへ行きつ戻りつ、戸を叩いては耳を澄ます事幾度「誰が今頃、船なんかに殘つてる人があるもんですか、船長さんを始め…、さう、船長さんなんか今頃は、ロンドンのお家でお茶でも召しあがつてゐらつしやるでせう。其外の方々もみんな、、午食の濟むのを待ちかねて、陸へ行つてしまひました。尤も當番の二三人は船首の方で荷揚げの監督をして居られます」と風呂番のボーイが云つてくれました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入學に先つて

親が教師に語るべき事

誠之小學校長　杉浦恂太郎

△教師の少なからぬ參考

子供を學校へ入れられる父兄が、其子供の性質をよく知つて、之れを學校の教師に通ぜられて置くと云ふ事は、其子供の爲めにも、教師の爲めにも、非常に望ましい事であります。此子供は恁ふ云ふ性質でかゝる癖がある、これが特長であれが缺點であると思ふから、其つもりで教育を願ひたいと賴まれゝば、教師は集團教授の中にも、尙ほ各個人の長短特質を認めて、伸ばすべきは伸し、矯むべきは矯めると云ふ──即ち劃一教育の中に個性尊重の精神を表はしてゆく事が出來るのであります。

△三人の兄弟があるとして

例へば此處に三人の兄弟があり、長男が五年生で、次男が三年生、三男が一年生になつたばかりと假定いたします。そして其父母の子供に對する意見が次の如く一致したとします。即ち、長男は何んでもよく理解して、其れを發表する事も巧みである、一を聽いて十を知ると云ふ性質であるが、どうかすると出過ぎて困る。次男の方は一寸見ると愚鈍の樣で、感受性も鈍し、發表もまづい、けれども着實で勤勉で、物をじつくりと飽きずにやる、だから教場では教師の質問などに甘い氣の利いた答は出來ないが、着々として進んでゆく所が取り所である。三男の方はまだよく其特質を現はしてゐないが、先づ右二者の中間に位するものと思へば大差ないであらう。

△教場での手心

恁う云ふ觀察を、學校の受持教師に話されると、教師も其つもりで、其兒童に對するから、比較的に個性を尊重された教育が行はれ易いのです。右の場合に長男を受持つた教師は、彼れが餘りに得意になつて自惚れる樣な恐れのある時は、之れを適當に誡め、自省自重させる樣に導く事が出來る。そして次男の受持教師は彼が質問に答へる時、解つてはゐるが、どうも發表が下手でうまく云ひ表はせないと云ふ樣な場合は、餘り之れを追窮しない、隨つて參觀人などから見ると一寸妙に思はれる事があつても、其教師は其兒童をよく知つてやつてゐる事であるから、少しも不思議はないのです。

△親が一番よく知つて居る

子供の性質などを一番よく知るものは何と云つても父母でなくてはなりません教師は多數の兒童を一齊に教育するのですから、各兒童の特質を知る迄には長の年月を要します。故に兒童を小學校へ入學させる時は勿論其後と雖も、常に我が子の性格の變つて行く所を觀察して、之れを學校の教師にも通じ、學校教育と家庭教育と相待つて、兒童を正しきに教導する樣にいたしたいものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供がジフテリヤに罹つた時

大村薫子

□

二月初めの寒い日に、十歳になります私の長男は學校から歸りますと、寒い寒いと申しまして、火鉢にもたれて居りました。お腹も惡るい樣な容子もなし、然うかと云つて咳も出ず、風邪の樣にも見えません。たゞ寒氣がすると申すので、すぐ床にふせらせて、湯たんぽをいれてやすませました。しばらくして熱をはかりましたら卅九度五分あるので驚いてかゝりつけの醫師の來診をうけさせました。

□

醫師は寒冒だと申しまして其の手當をして下さいました。處が二日目になりましても、一向熱がさがりません。二日目に醫師が來診の時に、喉に僞膜を發見して實扶的利亞だといふ診斷です。實扶的利亞は犬の遠吠のやうな、いやに耳にひゞく咳をすると云ふ事を聞いて居りましたのに、初めから咳一つ出ませんのに實扶的利亞と云はれましたので驚きました。

□

其の夜の十一時半、股へ一管の注射をしました。實扶的利亞の注射は二十四時間で其の効力が著しくあらはれると申す事ですが、翌朝の九時頃から、其時迄ずつと持續して居た高熱も追々とさがつてまゐりました。丁度廿四時間目の、その日の十一時頃には不思議な樣に熱はさめて三十六度七分といふ全くの平熱になりました。

□

子供がかゝる傳染性の病氣で實扶的利亞ほど恐るべき者はありますまい。少し手後れになると必ず一命に懸ります。發病の模樣は多くの場合急に熱が出て食事が減じ、又食物を嚥下す時、咽候に一種の痛みがあつて、何となく氣分が重く、平生の如く遊戯も好まず、輕い咳をしたり、或は頸下淋巴線が、はれて、押すと痛みを感じます。五六歳以上の子供ですと頭痛を訴へます。その時口を開かせて見ますと、乳白色の斑紋が咽喉に出來て居るか、又は白絹でもひいた樣に薄い膜が出來て居ます。それを氣がつかずに居ますと、咽喉部一面が乳白色の膜で覆はれて遂に心臟痲痺を起すか、氣管狹窄の爲め窒息して死に至ります。かういふ徴候のあつた時は、一時も早く醫師に注射して頂くのがよろしく、手遲れにならぬやう返す〲も注意しなければなりませぬ。

子供の智慧

□二重丸は食べられるかえ

衛さん（七つ）は兄さんが學校で二重丸を頂いたと云つて喜んでお母さんにお話して居るのを、傍で聞いて居て、「兄さん二重丸は食べられるかえ」と聞きました。この衛さんは四月から學校に入るのですが、學校はいやだと申します。どうしてと訊くと「だつて何にも食べられないんだもの」——（投書を歡迎します）——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春野の小草

摘草のしをり

氣持よい春が參りました。野も山も薄緑の色に包まれて、草間には初春の野山を彩る草花がぼつぼつ咲き初めました。芹、薺、御行、はこべ、佛座、菘、すゞしろ等の、七種摘みに行くのも亦一興と存じます。丁度今頃摘頃の草には

□御行　又の名を「はゝこぐさ」「五行」とも呼び丁度今一、二寸位にのびて居ります。成長して黄色い麹の樣な花をつけます。お雛樣に供へる菱餅にはこの草を入れるのが本統なのださうです。この御行のある所によく混つてある。

□よめな　は東洋獨特の産で、他に見る事の出來無いものです。香氣が非常によい處から、風流人の食卓にしたし物として喜ばれて居ります。

□土筆　とくさの類に屬するもので、この地下莖には小さな球がついて居ります、こゝに土筆の滋養分が蓄へられて居るのです。顯微鏡を以つて土筆の頭から出る粉を御覽なさい、一寸呼氣を吹きかけますと、粉の一つ〳〵が盛に活動いたします。これが胞子と呼ばれて居るものなのです。こんな事に依つて、お子樣方の理科の智識を養ふのもよろしからうと存じます。

□たんぽゝ　と云へば直ちに黃色い花を聯想いたしますが、國によつては白いたんぽゝばかりしか無い處があるさうです。よめな、土筆と共に粋な食物として賞されて居ります。

今週の惣菜

櫻井ちか子

▽筍の木の芽和へ　筍を茹で水に浸して灰汁を除り、薄く刻んで醤油と砂糖で甘加減に味を付けて冷して置き、別に味噌を摺り、山椒の葉を摺り込んで砂糖で味を付け、其の中に前の筍を入れて和へます。山椒の葉に餘り澤山入ると苦味が付きます。尚ほこの中へ茹烏賊を少し入れると一層美味しくなります。

▽餡かけ豆腐　一丁の豆腐を四ツ切位にし、其を蔽ふ位の水で一寸煮立て、深杓子で椀に盛り其の上から餡をかけ山葵を摺り生姜を添へます。豆腐に成るべく柔く、絹漉しならば最も結構です。

餡は普通の煮出しを取りて、吸物よりは少し鹹目に味をつけ、砂糖を加へ、煮えましたらば鍋を下して、溶した葛を交ぜながら入れ、一寸煮立てれば宜敷い。葛は三合の煮出汁に小盃一杯の割合です。

▽獨活と午蒡の信田巻　油揚に熱湯を掛けて油氣をとり、四方の端を切り去つて二枚に剝し、午蒡は一端茹で、獨活は皮を剝いて、生のまゝ一所に油揚で巻き、昆布か乾瓢で結び、これを醤油と水とを等分にして、砂糖少量を加へた汁で悠くり煮るのです。

▽キヤベヂ巻　キヤベヂを破れぬ樣に一枚づゝ剝がし、鍋に湯を煮立たせて置いた中に一寸浸けて柔かにして置きます。挽肉に胡椒、鹽、細かに刻んだ葱等を適宜に加へ、よく交ぜ合せ、卵位の大さにしてキヤベヂに包み鍋に並べます。其處へ材料を蔽ふ位にスープを加へ、キヤベヂが柔かになるまで煮ます。もしスープの無い時は、只の湯を入れて味の素、又は鰹節を入れてもよろしいのです。煮えてから材料を取り出し、殘の汁に水を溶した饂飩粉を交ぜ、とろりとしたのを其上にかけます。

▽散らし卵の葛汁　普通の煮出し汁を作り、水に溶いた葛を粒々にならない樣に入れます。沸騰いたしましたらば汁を掻き廻しながら卵を流し込むと一體に散ります。煮えた所で火から下し、茹でた菜又は隱元の如き青味を浮して出します。之れは卵一個で四人前は十分出來ます。卵は入れる前に黄味白味をよく掻き交ぜて置かなければいけません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

埃及の王

獅子狩り鰐魚捕り

斬雲

日本では、龍虎の闘ひと言ひまして陸で猛しい者は虎、水で強い者は龍と定まつて居ます。

處が世界全體の相場では、陸には獅子水には鰐魚が一番強いものとなつて居る樣です。どうもあの、のつそり長い髮を被つた大頭のライオンの姿は、虎よりも恐ろしく見えます。又角の生えた龍の姿はえらいものですが、あんな龍は本當には無いので、蛇の大きい者が龍だと云ふ事になりますと、異物の鰐魚の方が一層人相の惡い強さうなものに見えます。

處で埃及の國には此の獅子に鰐魚が澤山居るので、近頃では獅子は余り居ないそうですが、鰐魚は相變らず澤山棲んで居ると申します。

ですから紀元前千年など、云ふ太古には、埃及には獅子も鰐魚もうよ〳〵に居たのでせう。處で其頃の埃及の王樣に、アメネムハットと云ふ強い人がありました。此の王樣は大變威勢の好い方で「乃公は獅子を狩り又鰐魚を生捕つて兒供等へお土産にする」と仰せられ、之を大變自慢にしたのです。

アメネムハット王樣の獅子狩りはどんなことをするかと申しますと、其頃は鐵砲が無かつたので、弓矢を用ゐました。王樣は家來共に澤山の獵犬を嗾けさせて獅子を森の中から逐ひ出させ、大勢の兵隊で之を八方から圍んで矢を射かけ、だん〳〵近寄つて刀や槍で殺すのです。ま、力づくで獅子を殺すのです。そして具合能く殺さずに生捕つた場合には之を飼ひ馴らして獵犬の代りにするのです。

次に鰐魚捕りと云ふのが面白いのです。鰐はナイル河の中に棲んで居ますから、犬を嗾けて逐い出す譯にはいきません。そこで遂う魚を釣る樣に鈎で釣る事を考へたのです。其法は大きな鈎へ豚の肉を五六斤も付けて之を河の中へ投げ込むのです。勿論鈎へは丈夫な綱を付けて置きます。處が、鰐魚は直ぐ此の餌を見付けて呉れないから、河岸へ一頭の生きた豚を曳いて行つて棒で撲つのです。すると、豚は痛いから、妙な聲を發して叫びます。河の底に居る鰐魚は此の叫聲を聞いて、「そらこそ、大好物の豚的が來た」とばかり、水の上へ出て見ると、彼の鈎に付けた生々しい五六斤の豚肉が浮いて居ます。是奴ア難有いと云ふので、大きな鰐口を開いてむしやりと頬張り、一呑みに嚥み込みます。陸に居るアメネムハット王樣は大喜び「それ曳上げろ」との號令、家來共は大勢で太い綱を曳く

咽喉へ鈎が引つか、つて居ますから鰐魚公痛くて堪りません。曳かる儘にズル〳〵陸へ上つて來て、大きな目の玉をぎろりとやりますが、一向睨みが利きません。遂うのそ〳〵大きな圖體を意氣地もなくアメネムハット王樣のお宮迄曳れて行くのです。王樣は鐘太鼓で人民に見に來いをきめ込みます。鰐魚はロハの觀世物にされて業晒らし。涙をボロ〳〵滴すのが、やがてナイル河から溢れて埃及の大洪水になると申します。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ウオヅオスの妹(二)

△低く活きて高く思ふ

ドロシーは困難な經濟を引受けて、少しも苦にしなかつた。料理洗濯掃除凡べてを一手に取り捌いた。兄と共に家の周圍に野菜畑を作つて二人して耕した。「低く活きて高く思ふ」といふのが彼等の理想であつた。二人は歩く時も、讀む時も、書く時も必ずその行動を共にした。ドロシーは己れの凡べてを兄に與へた。彼女は文才も十分にもつて居た。兄の妹として恥かしくないものを持つて居た。兄が詩に天稟を得て居た如く、ドロシーは散文に其長所を持つて居た。

△兄の結婚

千八百二年にウォルズオスは、メリー、ハッチンソンと結婚した。メリーはドロシーの親友であつた。そして結婚後のウオルズオスの家は益々圓滿になつた。兄の爲めに飽くまで親切なドロシーはどこまでも快く美しく兄夫妻に交つた。やがて多くの兒女が生れて、ドロシーは、彼等の母と同じやうに懷き慕はれた。

△牧童の如く健やか

ドロシーは丈夫な體格を所有して居た。そして山でも川でも兄の行く處へは必ずついて歩いた、大陸の旅行にも同伴した。ウオルズオスは彼女を詩神として尊ぶと同時に疲勞せざる伴侶として喜んだ「妹は牧童の如く健かである」と書いて居る。

△兄に捧げた一生

然し若い時の過勞が晩年に報いて來て烈しい熱病にかゝつた。それからだん〲衰弱して一千八百五十年兄の死に後るゝ事二年にして此世を去つた。ドロシーの生涯は全く兄に捧げた献身的のものであつた。美しいドロシーの盡力が詩人ウォヅオスをこしらへあげたのであつた。(翠子)

噂

▲先頃來朝されたクラーク博士は、我が實業界の重鎭淺野總一郎氏の招きを受けて、芝の同邸を訪れました。名古屋城に形どつて建てられた宏壯な建築や、巨萬を投じて蒐集された美術品を見た後に、傍らに居つた一邦人に囁いて、紐育にあるカーネギーの邸宅もこれには遙かに及ばぬと云はれたさうであります。▲カーネギーは人も知る如く世界の富豪で幾十億の富は、刻々に其の利子を生んで、もしお伽譚の小父さんに云はせたら、家中はおろか屋敷中も金で動きが取れなくなる程の人です。今日に特に委員を置いて、如何にして金を有益に投ずべきかと云ふ問題を研究させて居るさうです。そして既に慈善事業に投じた金が二億五千萬圓に及んで居るとの事です。▲その人の邸宅と我が淺野氏の邸宅とを比較してこの言葉を洩されたクラーク博士の言葉、單なるお世辭ではよもありますまい。

若くして

安中花子

若くして戀に死ぬてふ事などのいたう妬くも思はるる宵。

久しうも住みなれし家たちまちに厭ふが如も人をうたがふ。

戀といはじ唯はた年の末の日に憂きこと繁きゆめの有りつる。

若き日も美しき日も牲としてこの一つをば得んとし思ひぬ。

いつよりかまぼろしめきしことのみぞめづる心の我に添ひ來し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（十三）

松本雲舟

歸途の二

「何んと言はれても願ひません。どうしてもリジヤを自分のものにせねばならぬ。あなたに助力を願つたのですが、あなたがどうするとも出來ぬなら、私は自分でどうにでもします。プラウチウスはリジヤを自分の娘分にしてゐるのだに、何故私はリジヤを奴隷として考へねばならんですか。他に仕方がなければ、リジヤに私の家の戸を絲で卷かせませう。狼の脂で戸を塗らせて、私の妻として私の家の爐邊に坐つてもらひます」「まあ靜かにせい、お前さんも執政官の子孫だに氣が狂つたか。我々の馬車に蠻族を縛りつけて來るのは、その娘と結婚するためぢやないのだ。極端な事は控へなさい。先づ最初は簡單な出來さうな手段を用ひやう。お前さんも考へるがよいし、私も考へて見やう。私はクリソテミスをジユピター神の娘のやうに想つた時もあるが、それでも結婚はしなかつた。ネロにした所で、アクテヤをアッタルス王の娘だと佯はられても、アクテヤと結婚しなかつた。氣を靜かにせい。プラウチウスも其の妻も、リジヤが若しお前さんの家へ來る氣なら、リジヤを留めておく權利を持たぬのぢやからな。お前さんばかりが戀の焔に胸を燃してゐるのではない。戀の女神はリジヤにも煩惱を燃させてゐるのぢや。私はそれを看て取つた。私の眼の睨みを信じなさい。辛抱するがよい。物事は何でも成就する。だが今日はあまり考へ過ぎたので、私はもう考へることが大義ぢや。でも、明日は必らずお前さんの其戀の一件を考へるよ。どうにか工夫が出來ぬやうなら、私もペトロニウスの名に耻づるからな」

暫らく二人は默つた。遂にヴィニチウスは餘程氣が靜まつて、

「有難うございます。あなたの御安泰を祈ります」

「まあ、辛抱せい」

「私共はこれから何處へゆくですか」

「クリソテミスの許へ」

「愛する女を持たれるのは、幸福な人ですな」

「私か。お前さんは私がどうしてクリソテミスを面白く思つてゐるのか知るまい。あの女は私の自由を與へた奴隷のテオクレスと善からぬ事をしてゐて、私がそれを氣づかぬと思つてゐる。一度はあの女を愛した時もあるが、今では唯あの女の虛僞と馬鹿さ加減を面白く思つてゐるのぢや。兎に角一緒に行つて見やう。あの女がお前さんをたらし込うとして、酒に漬した指で食卓の上に字を書いても、私は嫉みはしないよ」

二人はクリソテミスの許へ行くやうに指圖した。其の玄關で、ペトロニウスはヴィニチウスの肩へ手を按いて、恁う言つた。「待ちなさいよ、私は方法を見付けだしたぞ」

「それはどうも有難いわけで」

「さうぢや、さうぢや、故障なく行きさ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うだ。お前さんには解るかな、マークス」
「あなたの智慧を伺ひませう」
「數日たつと、リジャ姫はお前さんの家で五穀の女神の賜物を味うだらう」
「あなたはシーザー以上に偉大な人物です」とヴイニチウスが熱心に叫んだ。

別離の一

ペトロニウスは其の言葉の如く萬事を運んだ。クリソテミスを訪問の翌日、夕方まで睡つた。やがて皇帝の御殿へ參内して、ネロと密談を遂げた。此の密談の結果は間もなく現はれた。三日目に百人の長が近衛の小隊を率ゐてプラウチウスの家の前へ現はれた。

法律のない血腥い此時代に於て斯る使者は一般に死の傳令使であつた。百人の長がプラウチウスの門を其の梃で叩いたので、門番は玄關に兵士の現はれたことを奥へ通じた。全家は忽ち不意の恐怖に襲はれた。家族は老將軍を取巻いた。特にプラウチウスの身が危うい と想つたからである。ポマポニャは夫の頸に腕を巻つけて、力限り縋り着いて、殆んど解らない言葉を囁いた。リジャは敷布のやうに白い顔をして、プラウチウスの手を接吻した。小さいアウルスは父の寛衣に縋つた。廊下から、奴僕の住む二階の部屋から、家事室から、浴場から、地下室の入口から、換言すれば家全體から、多勢の奴隷が男も女も走り出した。「あゝ、あゝ」とか「悲しい事でございます」といふやうな叫び聲が繰返して聽えた。女達は泣き出した。奴隷の中には既に頬を掻きむしつてゐる者もあるし、手巾で頭を隱した者もあつた。

老將軍ばかりは、多年死に面することに慣れてゐたので、平素の態度を失はなかつた。其の小さい鷲のやうな面は石のやうであつた。奴隷に泣くのを止めて、部屋に歸るやうに命じてから、プラウチウスは恁う言つた。「私を一人置いてくれ、ポムポニャ。最後が來ても、左樣ならといふ閑はあらうから」

プラウチウスは靜に妻を押しやつた。ポムポニャは叫んだ。「私もあなたと一緒に死ぬやうに神さまへ御願ひいたします」

ポムポニャはやがて跪づいて、愛する者の身を怖れる時にのみ出て來るやうな熱誠を以て神に祈つた。

プラウチウスは百人の長が待つてゐる廣間へ行つた。それは年老つたカイウス・ハスタといつて、ブリテン征伐當時の副官で、プラウチウスの昔の戰友であつた。

「やあ、將軍」とハスタは言つた。「私は皇帝の御命令と御挨拶を持つて參りました。玆に皇帝の御名で參つた證據の御札と御印があります」

「皇帝の御挨拶を有難く御受けいたし、其の御命令を奉じます」とプラウチウスが答へた。「御機嫌やう、ハスタ。で、お前さんの持つて來た御命令を話してくれ」

「アウルス・プラウチウス殿」とハスタは言つた。「皇帝はあなたの御家にリジャ王の姫が住んで居られることを御承知になつたさうで、それは帝國の邊境がリジャ人に侵されぬやうにとクラウジウス陛下の御世に羅馬人へ人質として與へられたさうですな。ネロ陛下は永年其姫が御世話になつたことを、將軍、あなたに感謝してゐられます。で、この上御厄介をかけてはといふので、人質の其の娘を皇帝と元老の保護の下に置きなさるさうで、私に渡していたゞくやうにとの御命令です」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

●二飛行將校の慘死　上野公園に於ける海の博覽會開會式場を訪問する爲め、廿日午前十一時半追濱飛行場を發したる、三臺の飛行機は、十二時頃東京に來り、同會場を訪問して歸途、十二時五十分阿部中尉操縱、頓宮機關大尉同乘のイ十二號は、芝明舟町十九町田陸軍少將邸屋根上に墜落、兩將校共大負傷をなし遂に慘死せり。頓宮大尉には新婚後間もなき夫人歌子(二十)あり。

●獨海相の辭職　獨逸海相ティルピック氏は獨逸の全海軍を擧げて英艦隊を攻擊せん事を主張し獨帝及びハインリッヒ親王の許可する處とならざりし爲め辭職し、フォンカペル提督新海相となれり。

●「大戰終局の曙光見ゆ」　佛國大藏大臣リボウ氏は十七日下院に於て大戰亂終局の曙光見えたりと演說せしが是れ聯合國の豫想を漏すものとして注目されつゝありと。

●袁氏引退を閃かす　中華民國大總統袁世凱氏は、帝政問題より南方諸州の反軍を初め全國の民望漸く袁政府を離れ國步益々艱難となるより大總統引退の意を閃かしつゝありと傳へらる。

●海の博覽會開會　下谷池の端なる海事水產博覽會は二十日午前十時開會式を擧げ總裁伏見宮殿下の御臺臨ありたり。

●スミス氏來る　世界的大飛行家アートスミス氏(二十)は十八日午後地洋丸にて橫濱に入港、午後九時一行と共に上京したり。

●渡臺の三婦人　臺灣共進會を期して開かるべき、同島愛國婦人會總會に御臺臨あらせらるべき閑院宮妃殿下の御伴申上る婦人は山脇房子、丹羽花子外一名と決定し、四月十日頃出發すべしと。

●尼ケ崎町が市になる　兵庫縣尼ケ崎町は兼てより市制施行の希望にて內務省に認可申請中なりしが同省は實地踏査の結果之れを認可する事に決し近く認可の指令發せらるべしと。

●女髮結組合の嚆矢　外神田居住の女髮結百餘名は十七日午後三時より同區仲町の貸席福田屋に集會し、女髮結組合なるものを組織し、規約細則を協定し、役員の選定を行ひたり。

●救護看護婦卒業式　日本赤十字社病院にては來る廿五日午前十時より、本部及び五支部の救護看護婦生、七十名の卒業證書授與式を行ひ、當日は特志看護婦人會總裁閑院宮妃殿下の臺臨をも仰ぐ筈なりと。

●遣英看護婦土產話　遣英救護班一行二十二名は廿一日夜神戶入港の佐渡丸にて歸朝せるが山本婦長は曰く「一昨年十二月廿八日日本を出發し米國を經て英京倫敦に到着せるは昨年一月廿二日なり、彼地にては非常な歡迎を受け、アレキサンドラ皇后に拜謁を仰付られ外務大臣の晚餐會に招かれるなど大變なりし、ネトリの病院は建築費廿五萬圓、一ヶ年の經費六十萬圓、病室八百と云ふ大規模の者なりし、私達をジャパニース、シスターと呼ぶ負傷兵達は喜んで看護を受け、別れの時には名殘りを惜みて泣ける者さへありし、歸朝に際しては看護婦一同は皇太后陛下より金の赤十字のブローチを贈られ、私と清岡婦長とは特に兩陛下に拜謁仰付かり皇室赤十字章を拜受せり」云々。

●早蕨第二幼稚園の新築　久留島武彥氏の經營せる、早蕨幼稚園にては今回府下代々木字宿山谷二七六に第二幼稚園を新築せりと。

●雪と初雷　十七日夕刻より雷鳴甚だしく午後九時頃より雪ふりの雷鳴と云ふ珍天候となり積雪二寸に及べり。

女學校だより

△女子音樂學校　廿一日卒業證書授與式を兼ね春季音樂演奏會を午後一時半より開催。

△高輪淑女學校　十八、十九、廿の三日間生徒作品展覽會を開きたり。

△山脇高等女學校　例年の如く廿五日午前十時よりバザーを開催すべしと。

△第一早蕨幼稚園　來る二十四日午前九時より第六回保育修了式を擧行すべし。

△秋穗割烹女學校　今回更にコック養成所を增設したり。

△音樂學校優等生　中の才媛は花島秀子(二十三)井上はる子(二十二)大森とも子(二十三)鈴木信子(二十二)の四人なりと。

△共立女子職業學校　卒業生總數四百二十名にして、皇后陛下の御下賜金に依り設けられたる恩賞は甲部師範科卒業生伊藤くに子(二十四)乙部受驗科卒業生養老りう子(二〇)の二女に授けらるべし。

個人消息

▲金森久子(十九歲)久しく病氣中の處二十日長逝さる、孃は金森通倫氏の二女、父君通倫氏は兼てより米國加州に傳道し、愛孃の死に後るゝ二日、廿二日朝歸朝されたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■英國人と獨逸人の相違　大道鐵道院理事曰く「此頃オックスフォド・パンフレットを讀んで居ると斯んな記事が載つてゐた。英人と獨逸人との相違は色々あるが、英國では男子が日常生活の上にも、恰も淑女に侍するの風があるのに、獨逸では淑女が却つて男子の機嫌を取る、現に夕飯の時などに造詣深きプロフェッソル（教授）は食卓に就て、亦煙草の煙を輪に吹いて居ると、夫人は其飲み乾したビールの杯にお酌をする爲め、度々席を起ち、又た消え去つた煙草の火をつけてやると云ふ風で、英國人はそれを大分見苦しい遣方だと言つて居るが、實は今回の戰爭に對して獨逸人の强いのも、却つて此邊に原因してゐるかも知れぬ」と。

編輯室より

▲本誌掲載の山脇博士の獨逸の皇后陛下及び松本博士の母君に就ての事は、兩博士とも非常に御多忙の時を割いて親しく筆を執つて御書き下すつたものです。いつもながら兩氏の御好意を感謝致します。▲毎號誌上に薫る歌の寄稿者安中花子さんの事を、どんな方かと愛讀者から度々お尋ねがありますので、御紹介申し上げます。花子さんは兩三年前麻布鳥居坂の東洋英和女學校を卒業された才媛で、歌の外英語英文は誠に巧みなものです。只今は甲府の英和女學校に教鞭を執つて居られます。▲春になつた爲めか、編輯室も毎日お客樣で賑ひます。水曜と日曜の午後が此方の都合は一番よろしうございます。愛讀者の皆樣方、この邊御通行の節は、どうぞお立寄り下さいませ。

※社告※

▲本社には振替口座東京三一六六〇番がありますので、大方の愛讀者各位より購讀料を御拂込み下さいまして、お互に非常に便利に存じて居りますけれど、尚ほ郵便局まで御出になるのに大變遠い處のお方や、又御多用で態々郵便局まで參られる御暇の無い方々の御便利を圖る爲め今後集金郵便によつて御集金申す事にいたしますから、右豫め御含み置き下さいませ。

▲就きましては、只今までの購讀料未納の御方々へは、本月末より來月上旬へかけて、集金郵便を出しますから、何卒左樣御承知置き下され、御支拂下さいます樣に願ひ上げます。

▲尚ほ、集金郵便は金額一圓迄金六錢の手數料を納めなければなりませぬが、時局の爲め用紙印刷代等暴騰の折柄諸經費嵩み勝ちの處でありますから、購讀者各位に於て此手數料の半額金三錢丈御負擔下さいます樣に特に御願ひ申します。

▲又、新定價（一部金四錢五厘送料五厘）發表以前に申込まれた購讀者には舊定價にて一年間は差上げる筈でありましたが時局の影響にて諸雜誌とも値上を斷行せんとする際でありますから、此事情御察し下され、爾今新定價に依り御購讀下さいますやうお願ひいたします。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉なる調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地(市ヶ谷見附内)
電話番町六二番
東洋内科醫院
院長 醫學博士 **高田畊安**
電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同様になります
和洋服 **外套インバ**ネス 東コート **ネル・セル・ショール** **半襟毛皮**等のクリーニング
染色を**丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル 御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際 電話新橋三一〇八

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

齒科
ドクトル **富田貞一**
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
(久松町停留場より西一丁)

殺菌と血止めに便利なる
毒消し筆
一本金拾錢 送料金貳錢
●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り
●創口の血を止めて其場所を殺菌す
●携帯至便●使用簡便●殆んど永久に用ひらるゝ●是非一本を試みあれ
(注意)參錢郵券四枚封入御注文あれば即時發送す
發賣元 **目白藥局**
小石川區高田老松町十七 振替東京三一六九二

●**呉服物なんでも**
△問屋より直接取次故必廉價△市内は御報せ次第持參地方は御年頃と品物とお知らせ頂き御送附致します
東京四谷區愛住町九四 齋藤ふく

産科、婦人科、小兒科
女醫 **井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

美妙水
關係實驗大家 千葉晩香先生 發見
長崎藥學士 岡村繁先生 製劑
大瓶 金廿五錢
中瓶 金拾五錢
各送料金八錢宛(海外は別送料)
◎美妙水の著能 凍傷・濕疹・疥癬其他
▲虻蜂 ▲南京蟲等に螫刺
發賣元 横濱市青木町輕井澤一九五五
龍明堂「千葉せい」
(振替東京壹六八四參番)

京都染物
東京市本郷區湯島新花町八番地
井筒屋支店
中村榮次郎
電話下谷五六七四
(御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候)

個人教授 **裁縫技藝**
◎生徒募集家族的寄宿の便あり
●造花●摘細工●縫細工●綿細工●儀式用折紙●水引結方●編物●袋物●刺繍●押細工
入所時間科目隨意
麴町區富士見町五ノ二
大妻技藝傳習所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正五年三月廿四日發行（毎週金曜日發行）　婦人週報第貳卷第十三號　（大正四年十一月四日第三種郵便物認可）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA